

愛別町立認定こども園入園申込書

年 月 日

愛別町教育委員会教育長 様

住所
保護者 氏名
電話

愛別町立認定こども園への入園を次のとおり申し込みます。

入園児童	氏名（ふりがな）	生年月日	性別	備考
		年 月 日	男・女	
利用希望の 期間及び時間	年 月 日から 年 月 日まで 時 分 時 分			
希望の区分	1. 認定こども園での「教育」の利用を希望（満3歳以上の児童に限る） 2. 保護者の労働又は疾病等の理由により、認定こども園での「保育」の利用を希望			
保育の実施を 必要とする理由	（ ）： （ ）：			

入園児童の家庭状況

区分	（ふりがな） 氏名	入園児童との 続柄	生年月日	性別	勤務先	備考
入園児童の 世帯員				男・女		
				男・女		
				男・女		
				男・女		
				男・女		
				男・女		
生活保護の状況			適用なし・適用あり（ 年 月 日保護開始）			

※ 園 記 入 欄	申 込 の 承 諾	教育・保育の実施の要否	教育・保育の実施期間		保育の実施基準の番号
		要・否（理由）	自 年 月 日	至 年 月 日	両親等：（ ）（ ）
		年 月 日 承諾	入園番号		
			備考		

○裏面の「記入上の注意」をよく読んでから記入してください。 ※印の欄には記入する必要はありません。

記入上の注意

この入園申込書は、保護者が次の点に注意し記入のうえ、愛別町幼児センターに提出してください。
なお、その家族から2人以上の児童が同時に入園を申し込む場合は、それぞれの児童ごとに1枚の用紙を用いてください。

1. 「入園児童」の欄は、「氏名」にふりがなを付し、「性別」の欄は該当するものを○で囲んでください。
2. 「利用希望の期間及び時間」の欄には、小学校就学始期に達するまでの教育又は保育の実施を必要とする理由に該当すると見込まれる期間及び時間について記入してください。
3. 「希望の区分」の欄には、1（年齢の基準日において満3歳以上に限ります。）又は2のどちらか該当するものを○で囲んでください。
4. 「希望の区分」の2の入園できる基準は、次の表に掲げるような場合で、かつ、両親以外の同居している親族等が児童の保育をできない場合に限られます。「保育の実施を必要とする理由」の欄については、（ ）に両親（両親と別居している場合には、現在児童の面倒を実際に見ている方）が下の表の(1)から(10)までに掲げるいずれかの場合に該当するかを判断して、その該当する番号を全て記入し、かつ、その具体的な状況について、同欄に記入してください。（例えば、(1)や(2)に該当する場合は、勤務先、労働時間、就労日数等、(3)では親の具体的状況等、(4)では傷病名や治療見込期間等、(6)では災害の程度・復旧見込期間等）、(7)では具体的な求職活動状況等、(8)では就学の期間等。

なお、具体的な状況を確認できる書類があれば、あわせて添付してください。

5. 「入園児童の世帯員」の欄は、入園児童本人以外の入園児童の両親（同居・別居の別を「備考」に記入してください。）及び同居している親族等の全員について記入してください。「性別」の欄は、該当するものを○で囲んでください。「生活保護の状況」の欄は、該当するものを○で囲むとともに該当箇所に日付を記入してください。
6. 愛別町立認定こども園への入園については、入園できる基準に該当しないため入園が認められない場合、入園希望者が多数いるため入園できない場合及び入園できる基準の該当事由により保育の実施期間の希望に添えない場合があります。

愛別町立認定こども園へ入園できる基準 (希望の区分「2」に該当する場合)

愛別町立認定こども園へ入園できる児童は、両親のいずれも（両親と別居している場合には児童の面倒を見ている者）が次のいずれかの事情にある場合です。

- (1) 昼間に居室外で労働することを常態としていること。
- (2) 昼間に居室内で当該児童と離れて日常の家庭以外の労働を常態としていること。
- (3) 妊娠中であるか又は出産後間がないこと。
- (4) 保護者が傷病にかかり、若しくは負傷し、又は精神若しくは身体に障害を有していること。
- (5) 同居や長期入院等をしている親族を介護又は看護していること。
- (6) 震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること。
- (7) 求職活動を行っていること。
- (8) 就学していること。
- (9) 虐待やDVのおそれがあること。
- (10) 育児休業取得時に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であること。
- (11) 上記(1)～(10)に類する事由であると教育長が認める場合